



まつもとじゅん

松本純

中区・磯子区・金沢区

まちかど政治版

令和5年2月1日号
発行

自民党

松本純 後援会
発行責任者
平木 茂2月号
2023年
No.239松本純ホームページ▶<https://jun.or.jp/>ご意見箱▶opinionbox@jun.or.jp/

チーム自民党が、横浜の新しい設計図を創ります！

「市会議員」が、目となり、耳となり、地域の声を拾い上げ、
より広域の視野を持つ「県議会議員」が、各地で共鳴し合う声に縦糸、横糸を通し、
国政を担う「国会議員」が、問題解決のタペストリーへと縫い上げる。
それが政治家・松本純が、構想し、育んできた神奈川一区「チーム自民党」です。

中区

磯子区

金沢区

県議会議員
原そうすけ市会議員
松本 研市会議員
いなみ俊之助県議会議員
あらい絹世市会議員
関 勝則市会議員
山本たかし県議会議員
大村ゆう市会議員
黒川まさる市会議員
高橋のりみ

「インナーハーバー整備構想」を横浜再生のエンジンに

ヨコハマの都市臨海部(中区、磯子区、金沢区)が変わる

いま横浜港の外縁部では、本牧ふ頭、南本牧ふ頭、大黒ふ頭などを中心に総合物流拠点としての港湾機能の高度化が進められ、国際競争力をもった「国際ハブ港化」が誕生しようとしています。その一方で、みなとみらい地区や大榑橋、関内・山下町周辺などのヨコハマの都市部に面した横浜港の内縁部（インナーハーバー）では、水辺の広がる港の自然環境を活かした「人にやさしい」「環境にやさしい」新たな持続可能な都市空間の魅力創出の「設計図」が検討され始めています。

1859年の開港以来、ヨコハマは物流の拠点としてわが国の近代化、工業化の舞台として飛躍的に発展、成長してきました。しかし、これからの50年を考えると、新たな社会環境の変化に対応した、都市の活力を生み出す都市再生が求められています。少子高齢化、人口減少、地球温暖化、脱炭素などの課題と向き合い、これからの50年へと成長を続ける環境共生都市の「設計図」が必要となっています。

横浜港(中区)から根岸湾(磯子区)、金沢沖(金沢区)へと広がる都心に隣接する広大な海は、他都市にはないヨコハマの大きな資源です。ここに①循環型環境を再生し、②シームレスな人々の移動を可能とする交通ネットワークを再構築し、③活力ある国際的な人と文化の交流を育成、④新たな都市活力を創出する産業、イノベーションを集積し、⑤多様なライフスタイルが育まれる「生活する街」を育みます。

現在、大きな問題点の洗い出しを進め、その改善策、そして、それを連携し効果的にするためのマスタープランを策定中です。これからもチーム神奈川自民党一区支部をご支援ください。

【2023年1月】

松
本
純
の
活
動
記
録

- 1日●瀬戸神社歳旦祭・鶏鳴神事
- 4日●馬車道商店街協同組合新年賀詞交換会
- 7日●磯子区消防出初式
●神奈川県生活協同組合連合会新年賀詞交歓会
- 8日●大道町内会餅つき
●高舟台自治会どんと焼き
●日ノ出町町内会令和5年新春餅つき大会

- 9日●空手道拳流館武道始め会
- 10日●イセザキ・モール、マリナード地下街令和5年新年賀詞交換会
- 11日●公明党神奈川県本部「新春の集い」
- 12日●協同組合元町SS会令和5年新年賀詞交歓会
- 15日●神奈川県ふぐ協会新年賀詞交歓会
- 20日●山下町町内会新年賀詞交換会
- 21日●横浜市柔道整復師会創立60周年記念式典・祝賀会



1/1 末吉3・4丁目元旦国旗掲揚式
 ●オリンピック開催を記念し昭和39年7月に設置された国旗掲揚塔に町内の皆様と集まり新年の挨拶を交わしました。今年は統一地方選挙もあり、全力で取り組んでまいります。



1/4 横浜船主会・横浜港運協会・横浜港ハーバーリゾート協会共催2023年「年始の会」●藤木幸夫会長より、「横浜は港を中心にどのように発展するのか、ハーバーリゾート協会が発信します」との挨拶がありました。



1/10神奈川県自動車整備関係団体令和5年新年賀詞交歓会●市川英治会長・理事長から「自動車整備業界は変革期の真っただ中。今年こそ景気回復を実感できる年にするべく、努めて参ります」と挨拶がなされました。



1/12 横浜市薬剤師会 令和5年新年会●坂本悟会長は「ダイヤモンド Princess 号のコロナ感染時、乗客への薬の仕分から配達まで、スピーディに行動した経験を活かし今年も頑張ります！」と挨拶されました。



1/13 神奈川県薬業団体新年賀詞交歓会●小川譲県薬剤師会会長より薬業団体を代表して新年の挨拶がなされました。松本純からも診療報酬改定など、いま置かれている薬剤師会の状況報告がなされました。



1/17 神奈川県損害保険代理業協会新春の集い●三ヶ尻明広会長は「私たちの目的は損害保険代理店の質を高め、業務の適切な運営を確保し、損害保険事業の発展に寄与し、幅広く社会に貢献する活動です」と話されました。



1/21 横浜市柔道整復師会創立60周年記念式典●櫻田博昭会長より「喫緊の課題は大規模災害時の応急救護体制の確立であり、この整備拡充に取り組んでいます。地域の方の健康に貢献していきたい」との挨拶がありました。



1/22 富岡太子講例大祭●3年ぶりとなる例大祭は、宝珠院・佐伯隆道住職の読経により滞りなく終了、懇親会では、新たに幹事を務める野本敏明さんより昨年亡くなられた議員や幹事の方々を追悼する場が設けられました。

永田町日記

元気で明るい日本を取り戻したい

新型コロナ5類へ 加藤勝信 厚生労働大臣に聞く

重症化患者の減少とともに、感染症法上の位置づけを引き下げ、「日常」を取り戻そうという動きが注目される新型コロナウイルス。その現状について、加藤勝信厚生労働大臣に直接お聞きしました。

「直近の感染状況については、引き続き、非コロナ感染者を含めた救急がひっ迫する地域があるなど、注意が必要な状況も見られますが、国民の皆様の普段からのご協力により、新規感染者数が減少傾向に転じ、全ての都道府県で今週先週比が1を下回る状況になっています」と加藤大臣。「昨年成立した改正感染症法の衆議院による修正で新型コロナの感染症法上の位置づけについて、速やかに検討し必要な措置を講ずることとされています」。

この流れから厚生科学審議会感染症部会で議論し、その上で、加藤大臣が、新型コロナは「新型インフルエンザ等感染症ではない」との見直しを公表、さらに5類への省令改正を行う手続きを進めることになるとのこと。「時期はゴールデンウィーク明け頃を目指すことになるのではないか」とのお話でした。

「5類」への引き下げが決まれば、感染防止のための行動制限はなくなり、日常が戻ってきます。医療提供体制やワクチン接種費用などを再検討しつつも、一歩前に進むことで、元気で明るい日本が取り戻せることを切に願うばかりです。(純)



コロナを克服し1日も早く安全な「日常」を取り戻したいです



安心できる医療の確保は今後も重要な課題です